

日本育種学会 第118回講演会プログラム

2010年秋季 秋田県立大学

大会本部 (TEL: 090-2279-7103 期間中のみ)

9月23日 (木)		午後	幹事会 15:00-18:00 (アルヴェ)					
9月24日 (金)	午前	ポスター発表 9:30-11:30 (体育施設棟 アリーナ) 奇数番号 9:30-10:30 偶数番号 10:30-11:30						
	午後	第53回シンポジウム 13:30-17:30 Ⅰ. 育種における個体選抜とゲノミクス (講堂) Ⅱ. 米の食味, 品質成分に関する最近の研究とその応用 (第1会場, 共通施設棟 A303) Ⅲ. 根型育種をめざした研究の現状と今後の課題 (第4会場, 大学院棟 M216)						
		懇親会 19:00-21:00 (秋田ビューホテル)						
			第1会場 共通施設棟 A303	第2会場 共通施設棟 A304	第3会場 共通施設棟 A211	第4会場 大学院棟 M216	第5会場 大学院棟 M204	第6会場 大学院棟 M109
9月25日 (土)	午前	ゲノム解析・ DNAマーカー 101-112 9:00-12:00	ゲノム解析・ DNAマーカー 201-209 9:00-11:15	収量・ バイオマス 301-302 9:00-9:30	品種育成・ 育種法 401-408 9:00-11:00	発生 501-512 9:00-12:00	品質成分 601-611 9:00-11:45	
			抵抗性・耐性 210-212 11:15-12:00	変異創成 303-312 9:30-12:00	遺伝資源・ 系統分化 409-411 11:00-11:45			
	午後	ゲノム解析・ DNAマーカー 113-124 13:00-16:00	抵抗性・耐性 213-224 13:00-16:00	変異創成 313-323 13:00-15:45	遺伝資源・ 系統分化 412-425 13:00-16:30	増殖・生殖 513-527 13:00-16:45	発生 612-619 13:00-15:00	
							品質成分 620-626 15:00-16:45	
		グループ研究集会 16:45-18:45 1. 遺伝資源海外学術調査の現状と課題 (10) (第1会場, 共通施設棟 A303) 2. “習うより慣れろ！パソコン実習 Breeding Informatics 研究 VIII” (第2会場, 共通施設棟 A304) 3. 育種学と農学のこれからを考える20 若手の会主催・研究集会 (第3会場, 共通施設棟 A211) 4. ムギ類の遺伝・育種学へのデータベース活用 (学部棟Ⅱ E229)						
9月26日 (日)	午後	市民公開シンポジウム 13:00-16:30 (カレッジプラザ 講堂) 健康な暮らしと未来の植物 ―研究者が描く夢の植物― 1. 人と植物のかかわり 赤木宏守(秋田県大) 2. 食を支える未来の植物 岩永勝(作物研) 3. 暮らしを潤す植物たち 岩城一孝(サントリーホールディングス株式会社) 4. 健康生活に貢献する未来の植物 松村健(産業技術総合研究所) 5. 環境をきれいにする植物 藤村達人(筑波大) 6. みんなで考える未来の植物 高橋秀和(秋田県大)						

ポスター発表プログラム

奇数番号 9:30-10:30 偶数番号 10:30-11:30 (体育施設棟 アリーナ)

1. 品種育成・育種法

- P001 切断麦適性に優れ加熱後褐変しにくい六条大麦品種「はるしらね」の育成
○青木恵美子¹・塔野岡卓司¹・吉岡藤治¹・河田尚之²・吉田めぐみ²(1. 農研機構作物研究所2. 農研機構九州沖縄農研)
- P002 食べきりサイズで良食味なサツマイモ新品種「ひめあやか」の育成
○高田明子・藏之内利和・中村善行・片山健二・中谷誠・田宮誠司・小巻克巳・熊谷亨(農研機構作物研究所)
- P003 良質多収水稻新品種「東北189号」の育成
○永野邦明¹・千葉文弥²・宮野法近²・佐々木都彦³・遠藤貴司¹・我妻謙介²・早坂浩志¹(1. 宮城古川農試2. 宮城県庁3. 宮城本吉農改セ)
- P004 いもち病圃場抵抗性コシヒカリ同質遺伝子系統「ひたちIL1号」の育成
○眞部徹¹・岡本和之¹・福岡修一²・小菅一真¹・平山正賢¹(1. 茨城県農業総合センター生物工学研2. 生物研)
- P005 ジャポニカ大粒多収品種「秋田63号」の特性—玄米形質と粒形—
○小玉郁子・川本朋彦・加藤和直・松本真一・田口光雄・佐藤馨(秋田県農林水産技術センター農業試験場)
- P006 スイートソルガムにおける染色体倍加とフローサイトメトリー
○井上栄一・中島静華・西垣潤・新田洋司・本間貴司(茨大農)
- P007 自家不和合性を利用したセイヨウアブラナF₁品種採種システム
○宇田川久史・李鋒・西尾剛(東北大院農)

2. 育種情報・データベース

- P008 OryzaExpress: イネの遺伝子発現ネットワーク解析とデータベース構築
○濱田和輝¹・本郷耕平¹・山本直樹¹・藤井貴朗¹・望月孝子²・諏訪部圭太³・倉田のり²・矢野健太郎¹(1. 明治大・農・バイオインフォマ2. 遺伝研・植物遺伝3. 三重大生物資源)
- P009 スギコアコレクション作成への取り組み
○宮本尚子・高橋誠・渡辺敦史(森林総研林木育種センター)
- P010 完全長cDNA情報を利用したトマト・ゲノムのアノテーション解析とデータベース構築
川村慎吾¹・濱田和輝¹・鈴木絢子¹・山本直樹¹・柴田大輔²・青木考²・○矢野健太郎¹(1. 明治大農・バイオインフォマ2. かずさDNA研)
- P011 シロイヌナズナゲノム情報を利用したハクサイcDNAリソースの整備とデータベースの開発
○安部洋¹・佐々木一誠¹・畠山勝徳²・鳴坂真理³・田村卓郎⁴・深海一・小林薫¹・鳴坂義弘³・小林正智¹(1. 理研バイオリソースセンター2. 野菜茶業研究所3. 岡山県生物科学総合研究所4. ビッツ株式会社)
- P012 講演取り消し

3. 遺伝資源・系統分化

- P013 種特異的ITS1プローブを用いた簡易種判別技術の開発
○殿崎薫・西尾剛(東北大学大学院農学研究科)
- P014 講演取り消し
- P015 講演取り消し
- P016 ラオスにおける野生イネ自生地保全区の集団構造解析
○石川隆二¹・王艶平²・Chay Bounphanousay³・中村郁郎⁴・佐藤雅志⁵・佐藤洋一郎⁶(1. 弘前大学農学生命科学2. 江蘇省農業科学院3. ラオス王立イネ・換金作物研4. 千葉大学大学院園芸学5. 東北大院生命科学6. 総合地球環境学研)
- P017 長井系ハナショウブの後代植物における花色変異
○酒井かおり¹・村井良徳²・房相佑¹・岩科司³・金子幸雄¹(1. 宇都宮大農2. 慶應大・化学3. 国立科博・植物)

- P018 バンコクの3倍体野生イネ (BKK系統) の起源
○真壁壮1・高橋弘子1・石川隆二2・佐藤雅志3・佐藤洋一郎4・中村郁郎1(1. 千葉大園芸学研究科2. 弘前大農学生命科学3. 東北大生命科学4. 地球研)
- P019 葉緑体DNAの変異からみたインドのエンマーコムギとインド矮性コムギの遺伝的多様性
○高木俊弥1・森直樹1・大田正次2・千葉一3・シンデヴァサント4・カジャレムクンドゥ4・長田俊樹5(1. 神戸大院農2. 福井県立大学生物資源3. 東北学院大4. Decan College, Post-Grad. & Res. Inst.5. 総合地球環境学研)
- P020 ホウレンソウにおける形態のおよび遺伝的多様性の解析
桑原直平・伊藤友輔・○小野寺康之・三上哲夫(北大院農学研究院)
- P021 Dゲノム特異的STSマーカーA1の塩基配列からみたTriticum aestivum ssp. sphaerococcumの起源
○朝倉史明1・森直樹2・中村千春2・大塚一郎1(1. 神奈川大工学部生物2. 神戸大農学研究科植物遺伝)
- P022 アジアならびにオセアニア地区における*O. rufipogon* の遺伝的分化
○ハオイン1・小林雄1・一谷勝之2・田中克典3・中村郁郎4・佐藤雅志5・佐藤洋一郎3・石川隆二1(1. 弘大農学生命科学2. 鹿児島大農3. 総合地球環境学研4. 千葉大院園芸学5. 東北大院生命科学)
- P023 インドネシア原産のイネ在来品種と改良品種における形質変異の比較解析
○K. Muhamad・奥野員敏(筑波大学大学院生命環境科学)
- P024 日本におけるイネ品種の遺伝的多様性 I. SSRマーカー多型をもとにした日本イネ品種群の分類
○川崎顕子1,2・福田善通1,2(1. 国際農林水産業研究センター2. 鳥取大連合農)
- P025 葉緑体ゲノムの遺伝的変異からみたコムギ近縁野生種*Aegilops umbellulata*の多様性と*Ae. neglecta* 及び*Ae. columnaris*の倍数性進化
○八杉有香1・森直樹1・大田正次2(1. 神戸大院農2. 福井県大生物資源)
- P026 1座で多数のイチゴ品種を識別できるSSR
○本城正憲1・布目司2・片岡園1・矢野孝喜1・山崎浩道1・濱野恵1・由比進1・森下昌三1(1. 東北農研2. 野茶研)
- P027 アジア栽培イネの分子系統学的解析による遺伝的多様性の変遷
○本多剛志1・田淵宏朗2・猪谷富雄3・石川隆二1(1. 弘前大学農学生命科学2. 農研機構中央農研北陸研究センター3. 広島県立大生命環境)
- P028 PolA1遺伝子第19イントロンの解析によるブラシカ属植物の類縁関係
○新藤春香・高橋弘子・中村郁郎 (千葉大園芸学研究科)
- P029 絶滅危惧植物トウテイラン(*Pseudolysimachion ornatum*)の自生集団間及び集団内における遺伝的変異の解析
○手嶋立・大迫敬義(京都府大生命環境科学)
- P030 ミャンマーに自生する野生イネ集団の遺伝的多様性評価4. 年次変動について
○吉富麻衣子1・宇佐見純平1・矢野理恵子1・野村和成1・秋本正博2・石井尊生3・佐藤雅志4・S. Min5・S. Than5・H. Tin5(1. 日本大生物資源2. 帯畜大3. 神戸大農4. 東北大院生命科学5. ミャンマー農林灌漑省)

4. 変異創成

- P031 γ 線によるサツマイモ品種「タマアカネ」の肉色変異誘導とその特性
○境哲文1・神波巧2・片山健二1・甲斐由美1・吉永優1(1. 九州沖縄農研セ2. 大口酒造(株))
- P032 TILLING法を用いたダイズ品種「フクユタカ」からのFT3変異体の単離
○西美友紀1・木下剛仁1・穴井豊昭2・中島寿亀1(1. 佐賀県農業試験研究センター2. 佐賀大学農)
- P033 講演取り消し
- P034 キャベツ類の異質細胞質雄性不稔系統の育成と細胞遺伝学的特性
○沈受玄・鄭凡喜・房相佑・金子幸雄(宇都宮大学)
- P035 アブラナ科及びウリ科植物キメラ合成と利用
○陳美花・肖秋濱・大嶺彩・中島未来・平田豊(東京農工大学農)
- P036 アグロバクテリウム法によるイネ液体振とう培養細胞を用いた高頻度相同組換え系の確立II
○小沢憲二郎・若佐雄也・川東広幸・高岩文雄(農業生物資源研)
- P037 *Erianthus ravennae* (L.) Beauv. における培養系の確立およびアグロバクテリウム法による形質転換体の作出
○下前和紀・今野真由美・R. Khan・陳東波・中村郁郎・三位正洋(千葉大学大学院園芸学)
- P038 ELucを用いたT-DNAの一過的発現と安定的発現のモニタリングシステム
○雑賀啓明1・野中聡子1,2・刑部敬史1・土岐精一1,3(1. 生物研2. 筑波大院生命環境3. 横浜市大木原生研)
- P039 ダッチアイリスのカルコン合成酵素遺伝子を導入したベチュニア形質転換体の解析
○服崎佑亮1・濱砂伸也1・二宮裕美子1・平本優2・藪谷勤2(1. 宮崎大院農2. 宮崎大農)

P040 アグロバクテリウム法によるラン科デンドロビウム(*Dendrobium nobile*)の形質転換
○W. Phlaetita・D. Chin・三位正洋(千葉大園芸学研究所)

P041 制限酵素処理のみで多重遺伝子導入ベクターを構築できるプラスミドセット
○黒田昌治・木水真由美・三上周子(農研機構中央農研北陸研究センター)

P042 パンコムギ*ALAD1* cDNAの単離と機能解析
○竹之内悠・金丸研吾・宅見薫雄(神戸大農学)

P043 遺伝子組み換えによらない植物細胞へのタンパク質直接導入
○鷲田治彦¹・辻寛之¹・田岡健一郎¹・小嶋長次郎^{1,2}・島本功¹(1. 奈良先端大・バイオサイエンス2. 阪大・蛋白研)

P044 Artificial epiallele induced by phloem-transported siRNA
○白松齡・葛西厚史・原田竹雄(弘前大農学生命科学)

5. 抵抗性・耐性

P045 コムギ縞萎縮III型ウイルス抵抗性と連鎖関係にあるDAR^Tマーカー
○八田浩一¹・久保堅司¹・小田俊介²・高田兼則³・藤田雅也¹(1. 九冲農研センター筑後2. 作物研3. 近中四農研センター)

P046 パキスタン由来の大麦遺伝資源系統PK23-2における大麦縞萎縮病抵抗性遺伝子について
○甲斐浩臣・高田衣子・塚崎守啓・馬場孝秀(福岡県農業総合試験場)

P047 新規のいもち病抵抗性遺伝子*Pi45*をもつコシヒカリ同質遺伝子系統「コシヒカリ富山BL7号」の育成
表野元保¹・林長生²・尾崎秀宣¹・矢野昌裕²・森川真紀子¹・〇蛸谷武志¹(1. 富山県農林水産総合技術センター2. 農業生物資源研)

P048 北陸・東北地域のオオムギ雲形病発生圃場においてセルトレイ検定で抵抗性を示す遺伝資源
○山口修・伊藤誠治(中央農研北陸セ)

P049 長野県におけるChinese Wheat Mosaic Virus(CWMV)の発生
○前島秀和¹・白子幸男²・上原泰¹・細野哲¹・牛山智彦¹(1. 長野県農業試験場2. 東京大アジア生物資源環境研究センター)

P050 イネの鉄毒耐性に関する遺伝子の集積効果
○福田善通・J. Tanaka・M. Wissuwa(国際農研)

P051 アスコルビン酸を還元する酵素遺伝子を過発現させた遺伝子組換えイネのストレス耐性
○保田浩・佐藤裕(北農研低温耐性)

P052 異なる低温ストレス耐性を示す大豆準同質遺伝子系統における葉のフラボノイド含有量および抗酸化活性の比較
○戸田恭子¹・高橋良二¹・岩科司²・羽鹿牧太¹(1. 農研機構 作物研究所2. 国立科学博物館 植物研究部)

P053 低温馴化過程におけるコムギ実生の代謝物質変動
○下坂悦生・村山誠治(農研機構北海道農研)

P054 コムギDREB2ホモログの選択的スプライシングに影響する遺伝因子の解析
○倉橋夢人・M. Iehisa・宅見薫雄(神戸大農学)

P055 パンコムギ低温応答性遺伝子のexpression QTLと凍結耐性との関係
○本村洋一¹・小林史典^{2,3}・宅見薫雄¹(1. 神戸大農学2. 生物研3. 農研機構東北農研)

P056 アスコルビン酸パーオキシダーゼ遺伝子(*APXa*)の過剰発現によるイネの穂ばらみ期穎花における過酸化水素消去能と耐冷性の向上効果
○佐藤裕¹・増田ゆかり¹・斎藤浩二¹・村山誠治¹・小沢憲二郎²(1. 農研機構北海道農研センター2. 農業生物資源研)

P057 シロイヌナズナのカドミウム耐性変異体MRC-32の原因遺伝子の解明
○渡辺明夫・清水都乃・佐藤奈美子・高橋秀和・櫻井健二・赤木宏守(秋田県立大生物資源科学)

P058 オヒルギ・ソナレシバの耐塩性遺伝子スクリーニング
○多田雄一¹・遠藤千里²・長瀬優太²・玉城功²(1. 東京工科大応用生物2. 東京工科大院・バイオ情報メディア)

P059 耐穂発芽性に優れる極低ポリフェノール含量裸麦系統の開発
○柳沢貴司・長嶺敬・高橋飛鳥・阿部大吾(農研機構 近畿中国四国農業研究センター)

P060 低温条件がテンサイの発芽率と出芽率に及ぼす影響
○黒田洋輔・高橋宙之・田口和憲・岡崎和之・阿部英幸(農研機構・北農研セ)

P061 低地温においても生育が優れるサツマイモ系統の育成
○藏之内利和¹・熊崎忠²・藤田敏郎¹・中村善行¹・高田明子¹・熊谷亨¹(1. 農研機構作物研究所2. 豊橋技術科学大)

P062 イネ在来種「染分」を用いた穂ばらみ期耐冷性に関するQTL解析
○遠藤貴司¹・我妻謙介²・永野邦明¹・中込弘二³・山口誠之³(1. 宮城古川農試2. 宮城県庁3. 東北農業研究センター)

- P063 リン欠乏ストレス下におけるイネ葉身中のリン再利用 2
○片山敬仁1・小川恵美1・植川英明1・清水顕史1・長谷川博1・落合久美子2・間藤徹2(1. 滋賀県大環境科学2. 京大院農)
- P064 イネ根のIron-plaque非形成変異体を用いた、mPing転移断片の塩基配列解析
○松本公佑1・西村悠希1・清水顕史1・長谷川博1・奥本裕2(1. 滋賀県大環境科学2. 京大院農)
- P065 北海道在来品種より見出されたイネ幼芽期低温抵抗性QTL(qCTP11)の解析
○大西一光1・時園佳朗2・A. Baruah2・品田博史3・佐藤毅3・三浦秀穂1・佐野芳雄2(1. 帯広畜産大学2. 北大院農学研究大学院3. 道立総合研究機構上川農試)
- P066 コムギの節間伸長期における耐湿性選抜の効果
○吉田朋史・野々山利博・橋詰一(愛知県農業総合試験場)
- P067 「阿波赤米」型で「コシヒカリ」の低温土中出芽性を高めるQTLの集積効果
○山口琢也1・品田博史2・前田英郎3・蛸谷武志1(1. 富山県農林水産総合技術センター2. 上川農業試験場3. 作物研究所)

6. 品質成分

- P068 低アミロース米準同質遺伝子系統における米飯特性の系統間差異
○森山茂治・神田伸一郎・小野泰一・今智穂美・須藤充((地独)青森県産業技術センター農林総合研)
- P069 高アミロース・低粘度特性を有するサツマイモ新系統
○片山健二1・北原兼文2・境哲文1・甲斐由美1・吉永優1(1. 農研機構・九州沖縄農研2. 鹿児島大)
- P070 合成コムギにおける低分子量グルテニンサブユニットの発現変動が生地強度におよぼす効果
○田中裕之1・森脇早苗1・松岡由浩2・辻本壽1(1. 鳥取大農2. 福井県立大生物資源)
- P071 ツルマメから見い出された新たな7Sタンパク質サブユニットの変異系統
○羽鹿牧太・山田哲也・山田直弘・平田香里(作物研究所)
- P072 ハナショウブにおける青色花および赤色花品種の開発に関する研究
○東沙樹1・二宮裕美子1・藪谷勤2(1. 宮崎大学大学院農学研究科2. 宮崎大学農学部)
- P073 高アミロース型Wxアリルを持つイネのデンプン物性の比較解析
○阿部克1・佐藤かお理2・阿久澤さゆり2・半田恒平3・伊藤紀美子1(1. 新潟大院自然研2. 東京農大米養科学3. 新潟大農)
- P074 ダイズ貯蔵7Sタンパク質サブユニットの多様性と制御メカニズムの分析
○小林康真1・于蕾1・魚住貴志2・平田豊3(1. 農工大・連・植物生産科学2. 農工大生物生産3. 農工大国際院)
- P075 油含量の異なるセイヨウナタネ登熟種子におけるマイクロアレイ解析
○赤羽美智子・山田(秋山)仁美・ケネディ(赤坂)庸子・横井修司・高畑義人(岩手大学農学部)
- P076 タンパク質組成変異系統から抽出したタンパク質が製パン性に及ぼす影響
○荒木悦子・飯田修一(近畿中国四国農業研究センター)
- P077 ダイコンの根部グルコンノレート抽出のための簡易法
○石田正彦1・小原隆由1・柿崎智博1(1. 農研機構野菜茶研2. 農研機構野菜茶研3. 農研機構野菜茶研)
- P078 小粒ダイズ品種および系統の納豆加工に関する特性の評価
○岡野克紀・池田千亜紀・小菅一真・平山正賢(茨城生工研)
- P079 粉質突然変異米から調製した米粉の糊化特性
○芦田かなえ・飯田修一(農研機構近畿中国四国農業研究センター)
- P080 長野県育成品種における中華めん、めん帯色の品種間差について
○上原泰一・前島秀和・細野哲・牛山智彦(長野県農業試験場)

7. 収量・バイオマス

- P081 多収イネ、ハバタキの穂の着粒構造形成に関わる*Gn1*およびQTLのピラミディング
○池田真由子1・高師知紀2・山村卓也3・保浦徳昇1・森中洋一2・土井一行4・芦荻基行1・松岡信1・北野英己1(1. 名大生物機能開発利用研究センター2. HRI-JP3. (株)アースノート4. 名大院生命農学)
- P082 果実サイズの制御機構解明のための大果変異セイヨウナシプロジェクトについて
○五十鈴川寛司1・高品善1・高橋由信1・花田俊男1・及川彰2・松田史生3・山口信次郎2・森仁志4・白武勝裕4(1. 山形農総研セ園試2. 理研PSC3. 神戸大自然科学系4. 名大院生命農)
- P083 セイヨウナシWEE1キナーゼ遺伝子の単離と解析
○花田俊男1・高橋由信1・高品善1・五十鈴川寛司1・白武勝裕2(1. 山形農総研セ園試2. 名大院生命農)

8. 発生

- P084 縦方向の伸長を制御するイネ遺伝子群の解析
○香野みずき1・井沢有希1・北野英巳2・三浦孝太郎1・岩崎行玄1(1. 福井県立大学生物資源2. 名大生物機能開発利用研究センター)
- P085 イネ奇形小穂変異体[*mls3* (t)]の遺伝解析
○平季幸・高橋美帆子・大島健人・長野宏則・佐野芳雄・高牟禮逸朗(北大院農)
- P086 食用アスパラガスの性分化開始時期における *AGAMOUS*-like 遺伝子の発現解析
○今野格1・浅田ゆみ2・増田清2・菅野明1(1. 東北大院生命科学2. 北海道大農学院)
- P087 イネの未分化型胚発生突然変異体の解析
八木陽也1・山田章雄1・中尾梨沙1・長戸康郎2・○佐藤豊1(1. 名大生命農学2. 東大農学生命科学)
- P088 合成パンコムギ早生系統のF₂集団を用いた出穂開花特性の分離分析
○梶村友則1・岡本裕樹1・村井耕二2・宅見薫雄1(1. 神戸大農学2. 福井県大生物資源)
- P089 タルホコムギ集団から抽出した春化要求性欠失系統の特性
○香山佳代子・中村準・宅見薫雄(神戸大農学)
- P090 シロイヌナズナ *TRT* 支配下遺伝子のトランスクリプトーム解析
○津和本亮・原田竹雄(弘前大農学生命科学)
- P091 開花に低温を要求しないダイコン品種“バッキワツド”における開花制御遺伝子FLC, FRIの発現
○石井亜希穂・小林まさ代・尖戸理恵子・野村和成(日本大生物資源)
- P092 コムギ日長反応性遺伝子に関する準同質遺伝子系統群の生育特性
○松山宏美1・藤田雅也2・関昌子3・小島久代3・島崎由美1・松中仁2・蝶野真喜子3・八田浩一2・久保堅司2・乙部千雅子3・小田俊介3・加藤鎌司4(1. 農研機構中央研2. 農研機構九州沖縄農業研3. 農研機構・作物研4. 岡山大農)
- P093 イネのカドミウム移行におけるP1B-type heavy-metal ATPaseの機能の解析
○森美果子1・宮館秀典1・川本朋彦2・櫻井健二1・高橋秀和1・渡辺明夫1・佐藤(永澤)奈美子1・赤木宏守1(1. 秋田県立大学2. 秋田県農林水産技術センター)

9. 増殖・生殖

- P094 イチゴ半数体の効率的な作出法確立
○松田靖1・澤田倫平2・飯牟禮和彦2・村田達郎1(1. 東海大学農2. 熊本県農業研究センター)
- P095 イネの薬培養においてゲランガム培地と寒天培地で培養したカルスからの緑色植物再分化
○岡本吉弘・我妻尚広(酪農学園大学)
- P096 小孢子培養による *Brassica rapa* L. 倍加半数体の作出と多検体簡易培養法の開発
○高橋有・横井修司・高畑義人(岩手大学農学部)
- P097 東アフリカの半乾燥地域原産の多用途樹木 *Melia volkensii* における不定胚誘導
○谷口亨1・小長谷賢一1・栗田学1・藤沢義武2・近藤禎二2(1. 森林総合研究所森林バイオ研究センター2. 森林総合研究所林木育種センター)
- P098 アブラナ科植物の種内一側性不和合性にはMLPKが関与する
○高田美信1・鈴木剛2・柴博史3・高山誠司3・磯貝彰3・渡辺正夫1(1. 東北大院生命2. 大阪教育大3. 奈良先端大バイオ)
- P099 ガンマ線照射ニホンナシ花粉由来の花粉側自家和合性突然変異系統415-1における*S*ハプロタイプ周辺ゲノム領域の重複
○間瀬誠子・澤村豊・山本俊哉・高田教臣・西尾聡悟・齋藤寿弘・池谷祐幸(農研機構果樹研)
- P100 異質細胞質ダイコン系統にみられる雄性不稔性とミトコンドリアmRNAの発現パターンとの関係について
○安本景太1・筒井康太2・房相佑2・寺地徹1・山岸博1(1. 京都産大総合生命科学2. 宇都宮大農)
- P101 テンサイOwen型細胞質雄性不稔性における花粉稔性回復遺伝子 *Rf1* の発現解析
○鏡豊代・松平洋明・北崎一義・久保友彦・三上哲夫(北大院・農)
- P102 テンサイCMS系統と維持系統の交配による突発的稔性回復の遺伝的解析
○樋山肇1・大神遼1・田口和憲2・久保友彦1・三上哲夫1(1. 北大院・農2. 北海道農業研究センター)
- P103 テンサイミトコンドリア *rps3* の長い3'UTRは、細胞質雄性不稔ミトコンドリアで失われている
○松永宗幸・長野宏則・久保友彦・三上哲夫(北大院・農)
- P104 アブラナ属合成キメラによって得られた細胞質雄性不稔系統および稔性回復品種の遺伝子解析
○大嶺彰1・中島未来2・胡博卿1・太田惣介1・陳美華1・趙成日1・平田豊1(1. 農工大・院・国際2. 農工大農学部)
- P105 CMSを示すナス細胞質置換系統における *atp1* 遺伝子周辺領域の構造解析
○吉見麻衣子1・齊藤猛雄2・一色司郎3・寺地徹1・山岸博1(1. 京産大総合生命科学2. 農研機構野菜茶研3. 佐賀大農)

P106 イネの雌性配偶体型不稔性を示す突然変異体の同定
榎村理恵・〇伊藤幸博(東北大農)

P107 イネミトコンドリアにコードされる遺伝子転写産物の末端に関する研究
〇風間智彦・鳥山欽哉(東北大・院・農)

P108 Cゲノムとの種間交配における*O.sativa*花粉管伸長停止の特性解析
〇M. Shenton・倉田のり(国立遺伝学研究所)

10. ゲノム解析・DNAマーカー

P109 イネ収量に關与する遺伝子 *GW2* と *GIF1* における塩基配列の多様性及びハプロタイプ解析
〇山根弘子¹・伊藤友子¹・石久保春美¹・唐澤渉¹・金森裕之¹・伊藤幸代¹・柴田未知恵¹・濱田昌雄¹・向井喜之¹・南博¹・佐々木卓治²・呉健忠²・松本隆²(1. 農林水産先端技術研究所研究第1部2. 農業生物資源研究所植物ゲノム研究ユニット)

P110 ラッカセイに見出したMITE型トランスポゾンの特徴
〇白澤健太・P. Koilkonda・田畑哲之・磯部祥子(かずさDNA研)

P111 暖地小麦品種におけるグラフ遺伝子型解析
〇松中仁¹・新田みゆき²・那須田周平²・八田浩一¹・久保堅司¹・藤田雅也¹(1. 農研機構九州沖縄農研2. 京大院農)

P112 イオンビームによるイネ重力屈性変異体の遺伝解析
〇高橋明¹・手塚耕一¹・母良田美咲¹・加賀谷紘子¹・田中淳²・佐藤(永澤)奈美子¹・櫻井健二¹・渡辺明夫¹・赤木宏守¹・高橋秀和¹(1. 秋田県大生物資源2. 原子力機構量子ビーム応用研究部門)

P113 イネの種子長を制御する新規QTL、qGL4b、qGL7a、qGL7bの解析
〇加藤文晴¹・瀬上修平¹・鳥山真衣¹・安藤露²・河野いづみ²・矢野昌裕³・北野英己⁴・三浦孝太郎¹・岩崎行玄¹(1. 福岡県立大学生物資源2. 農林水産先端研3. 農業生物資源研4. 名大生物機能開発利用研究センター)

P114 高温および寡照条件で発生する乳白粒に関するQTL解析
〇坪根正雄・和田卓也・井上敬(福岡県農業総合試験場)

P115 インド型イネ品種IR64染色体断片導入系統を用いた粒重に関するQTLの検出と準同質遺伝子系統の作出
藤田大輔¹・A. Tagle¹・〇小出陽平²・福田善通²・小林伸哉¹(1. 国際稲研究所2. 国際農林水産業研究センター)

P116 トマト4元交雑由来の分離集団を用いたQTL解析
〇大山暁男¹・林武司²・松永啓¹・根来里美¹・宮武宏治¹・山口博隆¹・布目司¹・福岡浩之¹(1. 農研機構野菜茶研2. 農研機構中央農研)

P117 白粒コムギ分離集団での種子休眠性に関するmajor QTLとminor QTL
〇藤井雅之・大西一光・三浦秀穂(帯広畜産大学)

P118 ダイズ開花期関連遺伝子の環境応答性
〇渡辺啓史¹・山田哲也²・夏正俊³・阿部純²・石本政男¹(1. 農業生物資源研2. 北大院農学研究院3. 中国科学院東北地理農業生態学研)

P119 イネ品種「初山吹」の黄色胚乳に関する遺伝子の座乗染色体の特定
〇梶亮太¹・坂井真²・岡本正弘²・田村克徳²・山口誠之¹・中込弘二¹・佐藤秀樹¹(1. 農研機構東北農研2. 農研機構九州沖縄農研)

P120 ゴマにおける連鎖地図の作成
〇藤原一矢¹・P. Ho¹・山本将之¹・増田恭次郎²・若杉達也¹・山田恭司¹(1. 富山大院理工2. 富山大理生物)

P121 ナスの統合連鎖地図の構築とトマト連鎖地図との比較解析
〇福岡浩之・宮武宏治・布目司・根来里美・山口博隆・大山暁男(農研機構野菜茶研)

P122 SSRマーカーを用いた日本および中国ラッカセイ品種の識別
〇内藤嘉磯¹・鈴木茂²・長谷川誠²・桑田主税²・津金胤昭²・渡邊学²・室田有里²・久保山勉³・遠山和宏³・磯部祥子⁴・佐藤修正⁴・白澤健太⁴・笹本茂美⁴・田畑哲之⁴(1. 三菱化学メディエンス(株)2. 千葉県農林総合研究センター3. 茨大農4. かずさDNA研)

P123 *Arabidopsis*属の人工複二倍体に見られる非相加的遺伝子制御と雑種強勢様の表現型
藤本龍¹・〇川邊隆大²・佐々木卓³・E. Dennis¹(1. Plant Industry CSIRO2. 株式会社 渡辺探種場3. Gregor Mendel Institute)

P124 次世代型シーケンサーを用いたリン酸欠乏応答にかかわるイネのトランスクリプトーム解析
〇大野陽子¹・川原善浩¹・水野浩志¹・坂井寛章¹・脇本泰暢²・金森裕之³・山形晴美³・山本麻由³・細川聡実³・伊川浩司³・朱作峰¹・呉健忠¹・伊藤剛¹・松本隆¹(1. 農業生物資源研2. 日立3. 農林水産先端技術研)

P125 根圏毒性イオンに対するシロイヌナズナ根の応答遺伝子のゲノムワイドな解析
趙成日・〇平田豊(東京農工大学)

P126 毒性イオン処理したシロイヌナズナ根のC/N代謝のトランスクリプトーム解析
〇趙成日・平田豊(東京農工大学)

P127 アポミクシス性ギニアグラスにおける有性生殖性及びアポミクシス性胚の形成の両時期に特異的に発現する遺伝子の単離と解析
〇陳蘭莊¹・関黎明²・宮崎力³・小島昭夫⁴・斎藤彰³(1. 南九州大環境園芸2. 宮崎大教育文化3. 九州沖縄農世4. 野菜茶業試験場)

第53回シンポジウムプログラム

1 日目 (9月24日) 午後			
	シンポジウムⅠ (講堂)	シンポジウムⅡ (第1会場, 共通施設棟 A303)	シンポジウムⅢ (第4会場, 大学院棟 M216)
	育種における個体選抜とゲノミクス 主任: 矢野昌裕 (生物研)・松岡信 (名古屋大)	米の食味, 品質成分に関する 最近の研究とその応用 主任: 阿部利徳 (山形大)・鈴木保宏 (作物研)	根型育種をめざした研究の 現状と今後の課題 主任: 犬飼義明 (名大)・宇賀優作 (生物研)・ 佐藤雅志 (東北大)
13:30	1 植物科学から育種へ ーゲノム研究が明らかにした品種改良に貢献する遺伝子たちー 声苅基行 (名古屋大学生物機能開発利用研究センター) 2 遺伝子集積への挑戦 ーいもち病抵抗性を例としたゲノムツールの活用ー 福岡修一 (農業生物資源研究所) 3 新技術がもたらす新しい育種選抜の兆し ーゲノムワイドSNPが可能にする遺伝背景選抜とハプロタイプ定義ー 山本敏央 (農業生物資源研究所) 4 究極の育種選抜とは? ーゲノミックセレクションはイネ育種を加速できるか?ー 岩田洋佳 (東京大学大学院農学生命科学研究科) 総合討論	1 SNP等の多型検出技術の開発と品種育成研究への応用 西尾剛 (東北大学大学院農学研究科) 2 炊飯米の食味に関するQTL解析とその育種利用 竹内善信 (農研機構作物研究所) 鈴木啓太郎 (農研機構食品総合研究所) 3 米の可溶性低分子物質 阿部利徳 (山形大学農学部) 4 炊飯米の香气成分の特性と糯米等の香气成分の 品種間差異 久保田紀久枝 (お茶の水女子大学・生活科学部) 5 米粉パンや米粉麺等の米粉利用に適する品質特性 鈴木保宏 (農研機構・作物研究所) 6 米ヌカ成分の機能性とその利用 橋本博之 (築野食品工業 (株)) 総合討論	1 根のデザインー根型育種の展望 森田茂紀 (東京大学大学院農学生命科学研究科) 2 イネの地表根育種へのアプローチ 佐藤雅志 (東北大学大学院農学生命科学研究科) 3 高生産性イネの作出に向けた根の伸長性QTLに関する 研究 小原実広 (国際農林水産業研究センター) 4 深根性はイネの乾燥回避に役立つか? 宇賀優作 (農業生物資源研究所) 5 根張りを密にすることによるイネの土壌水分変動ストレス 回避の試み 犬飼義明 (名古屋大学大学院生命農学研究科) 山内章 (名古屋大学大学院生命農学研究科) 6 作物の耐湿性に寄与する根の構造および根系 中国幹生1・2・塩野克宏2・安彦友美2・山内卓樹2・間野吉 郎3・小柳敦史4・川口健太郎4・安倍史高4 (1. 名古屋大 学大学院生命農学研究科2. 東京大学大学院農学生命科 学研究科3. 農研機構畜産草地研究所4. 農研機構作物研 究所) 総合討論
17:30			
19:00			
21:00	懇親会 19:00-21:00 (秋田ビューホテル)		

講演番号・座長一覧

9月25日 (土)	第1会場 共通施設棟 A303	第2会場 共通施設棟 A304	第3会場 共通施設棟 A211	第4会場 大学院棟 M216	第5会場 大学院棟 M204	第6会場 大学院棟 M109
午前	101-104 席田淳史 9:00-10:00	201-204 福岡修一 9:00-10:00	301-304 伊藤幸博 9:00-10:00	401-404 岩田洋佳 9:00-10:00	501-504 小松田隆夫 9:00-10:00	601-604 河野雄飛 9:00-10:00
	105-108 福岡浩之 10:00-11:00	205-208 磯部祥子 10:00-11:00	305-308 穴井豊昭 10:00-11:00	405-408 穴戸理恵子 10:00-11:00	505-508 辻寛之 10:00-11:00	605-608 藤田直子 10:00-11:00
	109-112 津村義彦 11:00-12:00	209-212 久保友彦 11:00-12:00	309-312 川浦香奈子 11:00-12:00	409-411 田中淳一 11:00-11:45	509-512 掛田克行 11:00-12:00	609-611 菊池彰夫 11:00-11:45
	113-116 藤野賢治 13:00-14:00	213-216 吹野伸子 13:00-14:00	313-316 寺地徹 13:00-14:00	412-414 阿部利徳 13:00-13:45	513-516 佐々英徳 13:00-14:00	612-615 川勝泰二 13:00-14:00
	117-120 船附秀行 14:00-15:00	217-220 柳沢貴司 14:00-15:00	317-320 貴島祐治 14:00-15:00	415-417 笹沼恒男 13:45-14:30	517-520 高原美規 14:00-15:00	616-619 伊藤純一 14:00-15:00
午後	121-124 岩田夏子 15:00-16:00	221-224 吉岡洋輔 15:00-16:00	321-323 宅見薫雄 15:00-15:45	418-421 河原太八 14:30-15:30	521-524 新倉聡 15:00-16:00	620-622 山岸真澄 15:00-15:45
				422-425 加藤淳太郎 15:30-16:30	525-527 有村慎一 16:00-16:45	623-626 佐藤豊 15:45-16:45

2日目 (9月25日) 午前 口頭発表プログラム

9月25日	第1会場 (共通施設棟 A303)	第2会場 (共通施設棟 A304)	第3会場 (共通施設棟 A211)
	◆座長 厩田淳史 (ホクレン)	◆座長 福岡修一 (生物研)	◆座長 伊藤幸博 (東北大院農)
9:00	101 ゲノムワイドSNPに基づく栽培イネのハプロタイプブロック同定の試み ○米丸淳一・江花薫子・長崎英樹1.2・山本敏央1・柴谷多恵子1・矢野昌裕1(1. 農業生物資源研究所2. 国立遺伝学研究所)	201 リンドウにおけるSSRマーカーの開発とその利用 ○牛久由夏1・中塚貴司1・齋藤美沙1・嶋田典基2・日影孝志3・西原昌宏1(1. 岩手生物工学研究センター2. かずさDNA研究所3. 八幡平花き研究開発センター)	301 ケツルアズキ多器官大型化突然変異遺伝子のファインマッピング ○内藤健1・友岡憲彦1・加賀秋人1・平野久美2・Duncan A.Vaughan1,3(1. 農業生物資源研2. 日本農産工業3. 国際連合食糧農業機関)
9:15	102 イネソマクローナルバリエーションの全ゲノム塩基配列解析. III. コピー数多型 ○宮尾安藝雄1・中込マリコ1・大沼貴子1・山形晴美2・金森裕之2・伊川浩司2・高橋章1・松本隆1・廣近洋彦1(1. 農業生物資源研究所2. 農林水産先端技術研究所)	202 mRNAの網羅的塩基配列解読によるアサガオSNPマーカーの作出 リートン1・福岡浩之2・星野敦3・飯田滋3.4・仁田坂英二5・久保山勉1(1. 茨大農2. 農研機構野菜茶研3. 基生研4. 静岡県立大生活健康科学研究科・薬学研究科5. 九大院理)	302 イネの少分げつ突然変異体の分げつ制御とストリゴラクトンの関連性 ○建部えり子1・得字圭彦1・高牟礼逸朗2・加藤清明1(1. 帯広畜産大2. 北大院農)
9:30	103 <i>mPing</i> はなぜ転移するのか?—エビジェネティックな制御機構から逸脱したイネ転移因子 <i>Ping</i> の影響— ○門田有希1,2,3・内藤健2・T. Chen2・S. Wessler2・奥本裕1(1. 京大院農2. ジョージア大学植物科学3. 日本学術振興会特別研究員)	203 EST-SSRマーカーによるカーネーションの品種識別 ○磯部祥子1・白澤健太1・小野崎隆2・田畑哲之1(1. かずさDNA研2. 花き研)	303 X線照射により誘発されたダイズ脂肪酸突然変異体におけるDNA変異形態の特徴 ○星野友紀・川下宜久・高木幹・穴井豊昭(佐賀大農)
9:45	104 DNAメチル化がイネ非自律性転移因子 <i>mPing</i> の転移に与える効果 ○森奈々子・築山拓司・寺石政義・奥本裕・谷坂隆俊(京大院農)	204 キャベツ品種識別用SSRマーカーによる識別 ○金森裕之1・伊川浩司2・安藤露1・近藤友宏3・一ノ瀬純子3・加治 誠4・川邊隆大4・石井和広5・神谷真希5・山川理1(1. 農林水産先端技術研2. 三菱スペース・ソフトウェア(株)3. (株)日本農林社4. (株)渡辺探種場5. (有)石井育種場)	304 ダイズの矮性突然変異遺伝子についての解析 ○穴井豊昭・北原阿子(佐賀大農)
	◆座長 福岡浩之 (野菜茶研)	◆座長 磯部祥子 (かずさDNA研)	◆座長 穴井豊昭 (佐賀大農)
10:00	105 SNPマーカーを用いたスギ天然集団からの適応的遺伝子の検出 ○津村義彦・内山憲太郎・伊原徳子(森林総合研究所)	205 データの積算によるmRNA-seqの網羅性の評価 ○水野浩志1・川原善浩2・坂井寛章2・大野陽子1・金森裕之3・山本麻裕3・伊川浩司3・伊藤剛2・松本隆1(1. 農業生物資源研植物ゲノム2. 農業生物資源研ゲノム情報3. 農林水産先端技術研)	305 トウガラシの種間接木によって誘導された成熟果実色変異を制御するカロチノイド生合成遺伝子の解析 ○山口智弘・石森元幸・ハラジモジゲン・平田豊(農工大院国際)
10:15	106 SNP解析によるスギ精英樹集団の遺伝的特徴 ○内山憲太郎1・伊原徳子1・宮本尚子1.2・渡邊敦史2・二村典宏1・篠原健司1・津村義彦1(1. 森林総合研究所2. 林木育種センター)	206 水稻品種コンヒカリとIR64の染色体断片置換系統群の作出 ○野々上慈徳1・松原一樹2・小野望1・溝淵律子2・柴谷多恵子2・小木曾映里2・堀清純2・福岡修一2・矢野昌裕2(1. 農林水産先端研2. 生物研)	306 <i>Solanum melongena</i> と <i>S. sanitwongseii</i> の種間雑種の作出 ○北村雄1・濱登尚徳1.2・岩本嗣3・高橋能彦3(1. 新潟大院自然科学2. 新潟農総研園圃3. 新潟大農)
10:30	107 SNPアレイによるスギ高密度連鎖地図の構築とその情報を利用した核遺伝子型雄性不稔遺伝子近傍マーカーの探索 ○森口喜成1・伊原徳子1・内山憲太郎1・斎藤真己2・松本麻子1・谷尚樹3・平英彰4・二村典宏1・篠原健司1・津村義彦1(1. 森林総合研究所2. 富山森林研3. 国際農研4. 元新潟大)	207 ファンクショナルマーカーをもちいたイネいもち病真性抵抗性遺伝子Pit保有品種の同定 ○林敬子1・安田伸子1・藤田佳貴1・小泉信三1・吉田均2(1. 中央農研2. 作物研)	307 <i>Brassica fruticulosa</i> 細胞質をもつ異質細胞質ダイコン系統の育成と特性 ○筒井康太・房相佑・金子幸雄(宇都宮大農)
10:45	108 EST-based-SNP マーカーを利用したダイコンの高密度連鎖地図の作成 ○李鋒・長谷川陽一・汐海沙知子・北柴大泰・西尾剛(東北大院農)	208 テンサイおよび近縁分類群におけるミトコンドリアrRNA ^{Cyt} とアミノアシル合成酵素遺伝子の進化的解析 ○北崎一義・久保友彦・松平洋明・鏡堂代・藤田麻美・三上哲夫(北大院農)	308 セイヨウナタネ×カラシナの正逆交雑によるF ₁ およびBC ₁ 植物の特性 ○高嶋美穂・房相佑・金子幸雄(宇都宮大農)
	◆座長 津村義彦 (森林総研)	◆座長 久保友彦 (北大院農)	◆座長 川浦香奈子 (横浜市大木原生研)
11:00	109 ハクサイ根こぶ病抵抗性遺伝子 <i>Crr1</i> のマップベースクローニング ○畠山勝徳1・諏訪部圭太2・加藤丈幸1.2・布目司1・福岡浩之1・松元哲1(1. 野菜茶研2. 三重大生物資源)	209 イネ根の環境応答機構のフェノーム解析 S. Checheta・○土生芳樹(生物研植物科学)	309 <i>Brassica rapa</i> と <i>Diplotaxis erucoides</i> との雑種後代における1染色体添加型およびCMS系統 <i>B. rapa</i> の育成と細胞遺伝学的特性 ○山田渉・房相佑・金子幸雄(宇都宮大農)
11:15	110 異なる栽培集団から見出されたエンレイ種皮着色突然変異体におけるGmIRCHS遺伝子の構造変異/パターンの比較 ○西村さつき1・黒田智久2・石郷岡直人1・桑田理恵1・千田峰生1(1. 弘前大農学生命科学2. 新潟県農総研)	210 マイクロアレイによるイネの根の通気組織形成に関わる分子機構の解析 ○山内卓樹1・塩野克宏1.2・安彦友美1・I. Rajhi1・高牟礼逸朗3・長村吉晃4・堤伸浩1・加藤清明5・中国幹生1.6(1. 東大農学生命科学2. 学振特研員PD3. 北大農院4. 農業生物資源研ゲノムリソースセ5. 帯広畜産大6. 名大院生命科学)	310 シロイヌナズナとキャベツの体細胞雑種後代における雄性不稔性 ○山岸博・津田瑞江・児島慶子・安本景太(京都産大工学研究科)
11:30	111 大規模集団を用いたバンコムギ種子休眠性遺伝子座Phs1の精密マッピング ○厩田淳史1・小池倫也1・呉 健忠2・唐沢 渉3・山根弘子3・松本隆2・萩原保成4(1. ホクレン農業総合研2. 農業生物資源研3. 農林水産先端技術研4. 横浜市立大木原生物学研)	211 イネの通気組織形成能の低下した新たな突然変異体の解析 ○船引厚志1・高牟礼逸朗2・得字圭彦1・加藤清明1(1. 帯広畜産大2. 北海道大)	311 二粒系コムギとタルコムギの雑種にみられるハイブリッドクロシスの解析 ○中野樹樹・水野信之・宅見薫雄(神戸大農学)
11:45	112 バンコムギ物理地図作成のための反復配列の利用 ○小池倫也1・厩田淳史1・呉健忠2・唐沢渉3・山根弘子3・松本隆2(1. ホクレン農業総合研2. 農業生物資源研3. 農林水産先端技術研)	212 ダイズの発芽時冠水抵抗性に関する評価法の確立 ○中村岳士1・寺石政義1・関功介2・平田香里1.3・吉川貴徳1.4・斎藤大樹1・佐山貴司1.5・築山拓司1・中崎鉄也1・矢ヶ崎和弘2・奥本裕1・谷坂隆俊1(1. 京大院農2. 長野県野菜花き試験場3. 作物研4. 東大農学生命科学5. 北農研)	312 二粒系コムギとタルコムギの雑種にみられる低温応答性ネクロシスの解析 ○水野信之1・漆川直希2・宅見薫雄1(1. 神戸大農学2. 岡山大植物研)

2日目(9月25日)午前 口頭発表プログラム			
第4会場(大学院棟 M216)	第5会場(大学院棟 M204)	第6会場(大学院棟 M109)	9月25日
◆座長 岩田洋佳 (東大農学生命科学) 401 稲発酵粗飼料用新品種「なつあおば」の育成 ○長岡一朗1・三浦清之1・上原泰樹2・笹原英樹1・重宗明子1・太田久穂3・小牧有三4・後藤明俊5(1. 中央農研北陸研セ2. 北農研セ3. 東北農研セ4. 鹿児島県農業開発総合セ5. 農林水産省) 402 機能性多糖含有オオムギ品種「ビューファイバー」の育成 ○塔野岡卓司1・吉岡藤治1・青木恵美子1・河田尚之1,2・吉田めぐみ1,2(1. 農研機構作物研2. 農研機構九州沖縄農研) 403 試験管内染色体倍加による自家和合性を示す同質四倍体ナシ属植物の開発 ○田平弘基1・遠藤貴裕2・米村善栄2(1. 大山農業改良普及所2. 鳥取県園芸試験場) 404 自家不和合性遺伝子に着目したF₁大和マナ品種の育成 ○浅尾浩史1・西本登志1・奥山恵里2・越智康治3・梶田季生3・高山誠司4(1. 奈良農総セ2. 奈良中小企支援セ3. ナント種苗4. 奈良先端大バイオ)	◆座長 小松田隆夫 (生物研) 501 コムギ系統“超極早生”は少なくとも3つの劣性早生遺伝子をもつ ○川上耕平1・西田英隆1・藤田雅也2・明石由香利1・加藤鎌司1(1. 岡山大院自然2. 農研機構九州農研) 502 コムギクラスB MADS-box遺伝子<i>WAP3</i>における同祖遺伝子特異的転写制御システム ○漆川直希1・半田裕一2・武田真1・村井耕二3(1. 岡山大植物研2. 生物研3. 福井県大生物資源) 503 コムギのアブジン酸代謝酵素遺伝子変異体の解析 ○蝶野真喜子1・松中仁2・関昌子1・藤田雅也2・乙部千雅子1・小田俊介1・小島久代1・川上直人3(1. 農研機構作物研2. 農研機構九州農研3. 明治大農生命科学) 504 <i>Hordeum bulbosum</i>の球茎形成メカニズムの解明 ○古川真人・坂智広(横浜市大木原生研)	◆座長 河野雄飛 (東北農研) 601 超高アミロース性を示すイネ二重変異体の解析 ○浅井裕貴・中村保典・藤田直子(秋田県大生物資源) 602 リーキー変異体を用いて不稔回避したスターチシンターゼ二重変異体の単離 ○藤田直子・児玉桃子・相原里美・伊藤るみ子・中村保典(秋田県大生物資源) 603 デンプンの糊化が米粉パンの硬さに与える影響 ○青木法明・梅本貴之・鈴木保宏(農研機構作物研) 604 膨らみの向上した玄米粉パンの製パン特性 ○濱田茂樹・青木法明・鈴木保宏(農研機構作物研)	9:00 9:15 9:30 9:45
◆座長 穴戸理恵子 (日本大生物資源) 405 なぜ多くの近代チャ品種は葉の形態異常、コーロ遺伝子(k)をヘテロに持つのか ○田中淳一(農研機構野菜茶業研究所(現:農研機構作物研究所)) 406 イネの <i>biotron breeding system</i>;年6度の戻し交配を可能にする栽培法 ○大西孝幸1・石川亮2・山川博幹3・木下哲1(1. 奈良先バイオサイエンス2. 神戸大農学3. 作物研稲収量性研究北陸サブチーム) 407 パレシヨ育種における5種類の病虫害抵抗性検定用DNAマーカーを同時検出できる実用的なマルチプレックスPCR法の開発 ○森一幸1,2・坂本悠1・向島信洋1・中尾敬1・坂和良3(1. 長崎県農林技術開発セ2. 神戸大院農3. 北農研セ) 408 未検証のDNAマーカーを用いた量的形質選抜の有用性について:自殖性作物の改良の場合 ○石井卓朗1・矢野健太郎2・林武司3・岩田洋佳4・米澤勝衛5(1. 近中四農研2. 明治大農バイオインフォ3. 中央農研4. 東大農学生命科学5. 京都産大工)	◆座長 辻寛之 (奈良先端大バイオ) 505 オオムギ属野生種における<i>OlyH</i>ホモログの解析 ○掛田克行1・石原倫光1,2・王寧3・小松田隆夫3(1. 三重大院生物資源2. (株)村上農園3. 生物研) 506 閉花受粉性オオムギの遺伝変異 ○王寧1・本多一郎2・小松田隆夫1(1. 農業生物資源研究所2. 野菜茶業研究所) 507 オオムギ種子休眠性QTL“Qsd1”の精密マッピング ○佐藤和広1・武田和義1・金森裕之2・小松田隆夫3・松本隆3(1. 岡大植物研2. STAFF研究所3. 生物研) 508 ソルガムの開花期に関与するQTLのマッピング ○El MannaïYousra・我那覇あんり・J. Bhandari・T. Shehzad・奥野員敏(筑波大院生命環境科学)	◆座長 藤田直子 (秋田県大生物資源) 605 炊飯米における糖組成・含量の品種間差異 ○内田晋作・S. Kamara・笹沼恒男・阿部利徳(山形大農) 606 イネ種子における遊離リジン含量制御機構の解析 ○川勝泰二・高岩文雄(生物研) 607 ダイズB-コングリシニン高集積株の開発 ○加藤直樹1・甘利芳樹1・恵京敦史1・澤田真千子1・奥田英子1・増田太郎1・長岡利3・黒田昌治2・高岩文雄4・内海成1・丸山伸之1(1. 京大院農学2. 中央農研北陸セ3. 岐阜大応生4. 農業生物資源研) 608 東北地方の在来大豆から製造した豆腐の甘味に関する品種間差異 ○河野雄飛・加藤信・菊池彰夫(東北農業研究センター)	10:00 10:15 10:30 10:45
◆座長 田中淳一 (作物研) 409 明治時代に保存された玄米集団の遺伝的多様性 ○武藤千秋1・石川隆二2・田淵宏朗3・佐藤洋一郎1(1. 地球研2. 弘大農学生命科学3. 農研機構中央農研) 410 ミャンマーに自生する野生イネ集団の遺伝的多様性評価5. 地域集団における遺伝構造の比較について ○宇佐見純平1・吉富麻衣子1・神崎智行2・穴戸理恵子1・野村和成1・秋本正博3・石井尊生2・S. Min4・S. Than4・H. Tin4(1. 日本大生物資源2. 神戸大農3. 帯畜大4. ミャンマー農林灌漑省) 411 ベトナムの香り米品種の香りの遺伝解析 ○T. NGUYEN・Chau Thi AnhThy・Vazirzanjani Mehran・Vo CongThanh・平田豊(東京農工大学)	◆座長 掛田克行 (三重大院生物資源) 509 イネ出穂期関連遺伝子<i>RF1</i>の機能を低下させる変異について ○小木曾映里1・松原一樹1・山本伸一1・山根弘子2・石久保春美2・呉健忠1・松本隆1・矢野昌裕1(1. 生物研2. STAFF研) 510 水稻品種コンヒカリの早生性に関与する出穂期遺伝子<i>Hd16</i>の単離同定 ○堀清純・松原一樹・小木曾映里・山内歌子・矢野昌裕(生物研) 511 イネの出穂期決定遺伝子が収量性形質に及ぼす影響 ○遠藤直邦1・井澤毅2(1. 筑波大学 生命環境科学研究科2. 独立行政法人 農業生物資源研究所)	◆座長 菊池彰夫 (東北農研) 609 光照射したジャガイモ塊茎における緑化とグリコアルカロイド蓄積の経時的変化 ○尾崎英樹1・山田龍太郎2・梅基直行3・大西昇3・森元幸2・三浦秀穂1(1. 帯広畜産大2. 北農研セ3. キリンHD・フロンティア研) 610 新規食材用途に向けたサトイモ品種の特性評価 ○浅海英記・石々川英樹・伊藤史朗(愛媛県農林水産研究所) 611 窒素追肥による小麦生地の地性改良効果とその品種間差異 ○池田達哉1・谷俊男2・杉浦和彦2・藤井潔3・辻孝子2・吉田朋史2(1. 農研機構近農研2. 愛知県農業総合試験場3. 愛知県立農業大学校)	11:00 11:15 11:30
	512 イネのフロリゲンHd3aと相互作用する転写因子<i>OsFD1</i>の機能解析 ○辻寛之1・田岡健一1・大木出2・山口緑1・大垣友香1・Y. Purwestri1・児嶋長次郎2・島本功1(1. 奈良先端大・バイオ・植物分子遺伝学2. 奈良先端大・バイオ・生体高分子構造学)		11:45

2日目(9月25日)午後 口頭発表プログラム

9月25日	第1会場(共通施設棟 A303)	第2会場(共通施設棟 A304)	第3会場(共通施設棟 A211)
	◆座長 藤野賢治 (ホクレン) 13:00 113 バンコムギ組換え近交集団におけるタイプ1ネクロシスによる分離のゆがみ ○宅見薫雄1・水野信之1・M. Iehisa1・本村洋一1・小林史典2,3(1. 神戸大農学2. 生物研3. 農研機構東北農研) 13:15 114 オオムギ皮・裸性遺伝子に関する準同質遺伝子系統でみられた連鎖ひきずり ○武田 真1・菊池慎一2・水元若菜2(1. 岡山大植物研2. 香川大農) 13:30 115 「Madsen」由来のコムギ縞萎縮病抵抗性遺伝子と連鎖するDNAマーカーの開発 ○鈴木孝子1・新田みゆき2・那須田周平2・吉村康弘3(1. 道総研中央農試2. 京都大院農学3. 道総研北見農試) 13:45 116 オオムギβグルカン含量を高める遺伝子<i>amo1</i>のマッピング ○高橋飛鳥1・柳沢貴司1・山下優子2・南角奈美2・漆川直希2・湯尾崇史2・佐藤和広2・武田真2(1. 農研機構近中四農研センター2. 岡大植物研)	◆座長 吹野伸子 (野菜茶研) 213 極大粒黒大豆品種「丹波黒」への冠水抵抗性付与に寄与するQTL ○松本晃昌1・寺石政義1・中村岳士1・平田香里2・吉川貴徳3・谷坂隆俊1・奥本裕1(1. 京大院農2. 作物研3. 東大院農) 214 ダイズにおけるアルカリ塩耐性QTLの詳細マッピング ○D. Tuyen・許東河(国際農研) 215 ミャンマーの <i>Vigna</i> の遺伝子型における 耐塩性の変異 ○Khin Thuzar Win・Aung ZawOo・平沢正・大川泰一郎・平田豊(東京農工大学) 216 タルホコムギと合成バンコムギの幼苗におけるABA感受性の多様性 ○M. Iehisa1・倉橋夢人1・小林史典2,3・宅見薫雄1(1. 神戸大農学2. 生物研3. 農研機構東北農研)	◆座長 寺地徹 (京産大総合生命科学) 313 In vivoで観察された低温ストレスによるキンギョソウTam3トランスポゼースの核移行 ○小川昂志・藤野介延・夏目知子・貴島祐治(北大院農) 314 ソルガムにおける高再分化系統の選抜と直接遺伝子導入法の検討 ○中山繁樹(農業生物研・植物) 315 スターチブランチングエンザイム遺伝子群の発現抑制による高アミロース含量サツマイモの作出 ○濱田達朗1・大谷基泰1・北原兼文2・島田多喜子1(1. 石川県大生物資源工学研2. 鹿児島大農学生物資源化学) 316 RNAi法を用いたAGPaseの発現抑制による糖含量が増加した形質転換サツマイモの作出 ○磯辺美里1・中谷内修1・北原兼文2・大谷基泰1・菅沼俊彦2(1. 石川県立大生物資源工学研2. 鹿児島大農)
	◆座長 船附秀行 (近中四農研) 14:00 117 圃場検定を用いたイネ低温苗立ち性に関するQTLマッピング ○岩田夏子1・品田博史2・木内均3・佐藤毅2・藤野賢治1(1. ホクレン2. 上川農業試験場3. 中央農試験場) 14:15 118 イネの初期伸長性に関するQTLのファインマッピング ○阿部陽1・藤部貴宏2・寺内良平3(1. 岩手県農業研究センター2. 東京大学生物生産工学研究センター3. 岩手生物工学研究センター) 14:30 119 大豆種子粒重のQTL<i>qSw1</i>が他の収量構成要素に与える影響 ○加藤信1・佐山貴司2・湯本節三1・石本政男3・河野雄飛1・高田古丈4・菊池彰夫1(1. 東北農研2. 北農研3. 生物研4. 近中四農研) 14:45 120 SNPアレイを用いた在来品種の大粒に寄与するQTLの検索 ○吉瀬(新井)祐子1・江花薫子2・長崎英樹2・志波優1・吉川博文1,3・矢野昌裕2・若狭暁1,3(1. 東京農大. 生物資源ゲノム解析センター2. 生物研. QTLゲノム育種研究センター3. 東京農大. 応生科・バイオ)	◆座長 柳沢貴司 (近中四農研) 217 低温処理によるテンサイ幼苗の糖含量の変化 ○松平洋明・吉田みどり・佐藤裕(農研機構北海道農研) 218 リンドウのW14/W15遺伝子型多型と越冬芽の低温応答 ○日影孝志1・千葉さくら2・久米浩平1・斎藤靖史1,2・高畑義人1・堤賢一1,2(1. 岩手大院農連合農学2. 岩手大学寒冷バイオフロンティア研究センター) 219 組換え型自殖系統を用いたキュウリべと病抵抗性のQTL解析 ○吉岡洋輔1・吹野伸子1・坂田好輝2・松元哲1(1. 農研機構・野菜茶研2. 農研機構・九州農研) 220 組換え型自殖系統を用いたキュウリうどんこ病抵抗性のQTL解析 ○吹野伸子1・吉岡洋輔1・坂田好輝2・松元哲1(1. 農研機構・野菜茶研2. 農研機構・九州農研)	◆座長 貴島祐治 (北大院農) 317 活性酸素消去オベロンを葉緑体に持つ組換えタバコのストレス耐性評価 ○山本裕範1・森田重人3・寺地徹2(1. 京産大院工2. 京産大総合生命科学3. 京都大院生命環境) 318 ペンサミアナタバコ (<i>Nicotiana benthamiana</i>)を用いた葉緑体形質転換体の作出 ○辻村朋彦1・植村香織2・山本裕範3・寺地徹2(1. 京産大工2. 京産大総合生命科学3. 京産大院工) 319 ナスと葉緑体形質転換タバコの非対称細胞融合 ○村上亮太・重野麻子・寺地徹・山岸博(京都産大工学研究科) 320 フェリチンを葉緑体で強発現する3種類の組換えタバコの比較研究 ○植村香織1・郭長虹2・寺地徹1(1. 京産大総合生命科学2. ハルビン師範大)
	◆座長 岩田夏子 (ホクレン) 15:00 121 ソルガムの節間伸長に関するQTL解析 長江理恵1・大前梢1・山村卓也1・米丸淳一2・春日重光3・松本隆2・呉健忠2・北野英己1・松岡信1・〇佐塚隆志1(1. 名大生物機能開発利用研究センター2. 生物研3. 信州大農学部AFC) 15:15 122 イネの分枝を制御制御する<i>WFP</i>遺伝子は転写時及び転写後抑制による発現制御を受ける ○三浦孝太郎1,2・池田真由子2・松原篤史2・X. Song2・浅野賢治2,3・松岡信2・北野英己2・声功基行2(1. 福井県大生物資源2. 名大生物機能開発利用研究センター3. 北農研) 15:30 123 開花後登熟まで期間が短いダイズ在来系統「一本三合」の生育期間関連QTL ○小松邦彦1・高橋将一2・大木信彦2・佐山貴司1・船附秀行3・石本政男4(1. 北農研2. 九州農研3. 近中四農研4. 生物研) 15:45 124 はくさい中間母本農6号の晩抽性を制御するQTL解析 ○松元哲1・柿崎智博1・加藤丈幸1,2・吹野伸子1・石田正彦1・畠山勝徳1(1. 農研機構野菜茶研2. 三重大生物資源)	◆座長 吉岡洋輔 (野菜茶研) 221 オオムギ縞萎縮病ウイルス系統への抵抗性反応の違いを反映したrym5遺伝子型判別マーカー ○長嶺敬1・柳沢貴司1・池田達哉1・沖山毅2・渡辺浩久2・加藤常夫2・五月女敏範2(1. 農研機構近畿中国四国農業研究センター2. 栃木県農業試験場) 222 一遺伝子系統群を用いた西アフリカ産いもち病菌菌系の病原性評価 ○O. Theophile1・野田孝人1・林長生2・柳原誠司1・川崎銀子1,3・福田善通1,3,4・Y. Sere5(1. 国際農研2. 生物研3. 鳥取大連合大院4. 筑波大院5. Africa Rice Center) 223 シロイヌナズナのbZIP転写因子VIP1の機能解析 ○津釜大侑1・劉華1・柳参奎2・高野哲夫1(1. 東大アジアセンター2. 中国東北林業大) 224 マツノザイセンチュウ侵入後のクロマツの生体防御関連遺伝子プロファイル 平尾知士1・〇渡辺敦史2(1. 森林総合研究所森林バイオセンター2. 森林総合研究所林木育種センター)	◆座長 宅見薫雄 (神戸大農) 321 血清コレステロール値低下作用を有するペプチド、ラクトスタチンを胚乳に蓄積したイネの開発 ○若佐雄也1・長岡利2・高岩文雄1(1. 生物研2. 岐阜大応用生物) 322 遺伝子組換えイネ種子でのサイトカインの産生 ○高岩文雄1・楊麗軍1・廣瀬咲子2(1. 生物研遺伝子組換え開発センター2. 作物研) 323 コムギ貯蔵タンパク質を蓄積する形質転換イネの作出および解析 ○斉藤雄飛1・大江翔太郎1・萬代悠太1・尾崎真治1・森田重人1,2・佐藤茂1,2・黒田昌治3・川浦加奈子4・荻原保成4・奥西智哉5・増村威宏1,2(1. 京都府大生命環境2. 京都農技セ 生資セ3. 農研機構中央農研4. 横浜市大木原生研5. 農研機構食総研)

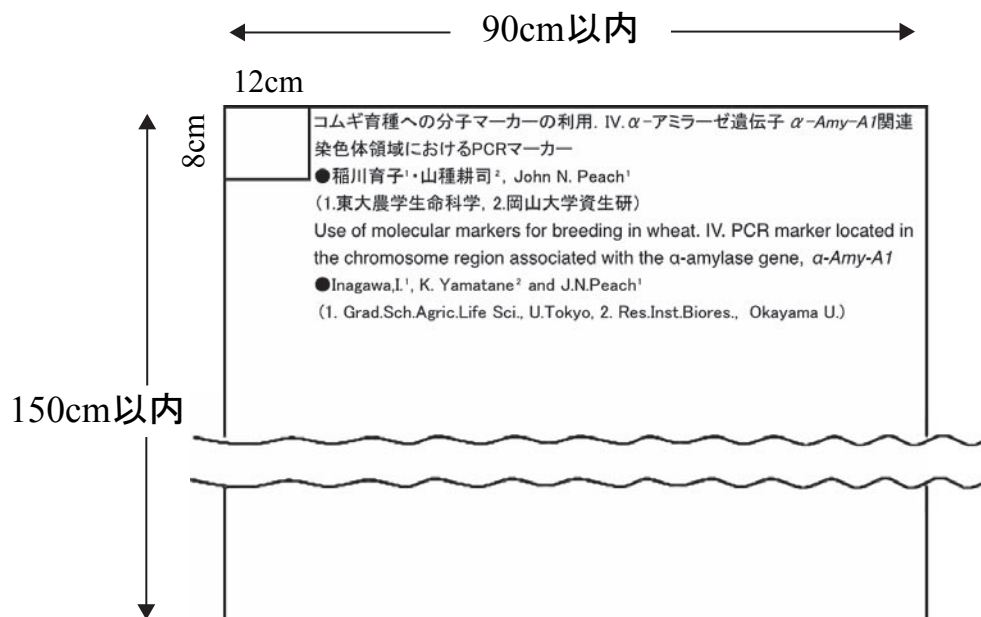
2日目(9月25日)午後 口頭発表プログラム			
第4会場(大学院棟 M216)	第5会場(大学院棟 M204)	第6会場(大学院棟 M109)	9月25日
◆座長 阿部利徳 (山形大農) 412 ヴェトナム北部および中国雲南省における<i>Cucumis</i>属野生種の多様性調査 ○加藤鎌司1・T. Phan1・田中克典2・山本達也1・石原大輔1・明石由香利1・Tran Thi Minh Hang3・龍 春林4・西田英隆1(1. 岡大自然科学2. 地球研3. ハノイ農大4. 昆明植物研) 413 北コーカサスにおけるムギ類遺伝資源の探索 ○笹沼恒男1・河原太八2・M. Zhuk3・T. Smekalova3・佐藤和広4(1. 山形大農2. 京大院農学3. パビロフ研究所4. 岡山大資源生物科学研究所) 414 アビシニア高地を中心とした栽培エンマーコムギの遺伝的変異 ○竹中祥太郎1・森直樹2・河原太八1(1. 京大院農学2. 神戸大院農学)	◆座長 佐々英徳 (千葉大園) 513 コチョウランの挿芽培養におけるPSR培地の有用性の検討 ○田中みずき・高原美規(長岡技術科学大学生物系応用植物工学) 514 反復高濃度糖処理によるニンジン子葉不定胚形成の生理学的研究 ○古川 沙月・高原美規(長岡技術科学大学 生物系 応用植物工学研究室) 515 アブラナ科野菜F₁採種圃場で生じる花粉媒介昆虫の選択的訪花行動と種子生産性に及ぼす影響 ○小林喜和1・田中篤2・新倉聡2・大澤良1(1. 筑波大院生命環境科学2. (株)トーホク) 516 <i>Brassica rapa</i>における花蜜量の変異 ○我那覇あんり1・小林喜和1・田中篤2・堀崎敦史2・新倉聡2・大澤良1(1. 筑波大学院生命環境科学2. (株)トーホク)	◆座長 川勝泰二 (生物研) 612 イネの穂および小穂の発育に関わる発育停止穂(<i>rp</i>)変異体の遺伝解析 塩飽宏輔・千葉あや乃・中居練・長野宏則・佐野芳雄・○高牟禮造朗(北大院農) 613 イネ<i>FZP (FRIZZY PANICLE)</i>座における新規フレームシフト突然変異遺伝子, <i>fzp-10</i> ○加藤恒雄・堀端章(近畿大生物理工) 614 <i>plastochron</i> 変異体のホルモン応答性と原因遺伝子の過剰発現 ○三村真生1・佐藤夢2・小嶋美紀子3・榎原均3・伊藤純一1・長戸康郎1(1. 東大院農学生命科学2. 生物研3. 理研植物科学センター) 615 イネ細葉遺伝子<i>SLENDER LEAF1</i>の同定 ○吉川貴徳・伊藤純一・長戸康郎(東大農学生命科学)	13:00 13:15 13:30 13:45
◆座長 笹沼恒男 (山形大農) 415 ヨシの群落間に見られる形態・生理形質の変異 ○荒木哲朗・横田知典・清水顕史・長谷川博(滋賀県立大院環境科学) 416 日本産タケ連植物の遺伝育種学的研究. XXIX. メダケの分布地域や開花の様相についての2, 3の野外観察 ○村松幹夫(岡山大学名誉教授) 417 ロシア・アルタイ産<i>Primula cortusoides</i> 他数種の生態と細胞遺伝学的観察 ○山口聡1・加藤淳太郎2(1. 玉川大農学生物資源2. 愛知教育大)	◆座長 高原美規 (長岡技術科学大) 517 アブラナ科自家和合変異系統の分子遺伝学的解析と連鎖地図へのマッピング ○大坂正明1・五十川祥代1・白澤彰1・菊田利奈2・小松聡2・新倉聡3・高田美信1・柴博史4・磯貝彰4・高山誠司4・鈴木剛5・諏訪部圭太1.6・渡辺正夫1.7(1. 東北大院生命科学2. 岩手大農3. 東北種苗4. 奈良先端科学技術大バイオサイエンス5. 大阪教育大自然6. 三重大生物資源7. 東北大理) 518 <i>Brassica napus</i> Cゲノム特異的SSRマーカーを用いた<i>B. juncea</i> × <i>B. napus</i>の雑種後代の解析 ○津田麻衣1・赤羽美智子2.4・奥崎文子1・七里吉彦1・小長谷賢一1.3・金子幸雄2・田部井豊1(1. 農業生物資源研2. 宇都宮大農3. 森林総研森林バイオ研4. 岩手大農) 519 リンゴにおける自家不和合性関連遺伝子SBP1(S-RNase binding protein1)ホモログの同定と解析 ○藤井大輔1・角井宏行1.2・古藤田信博3・牛島幸一郎4・佐々英徳1(1. 千葉大園2. 名大理3. 農研機構果樹研4. 岡大自然科学) 520 ニホンナシにおける雌ずい側自家和合性変異ハプロタイプS4smの花粉側特異性の解析 ○角井宏行1・加藤雅樹2・加藤修3・北口美代子3・佐々英徳2(1. 名大. 日本学術振興会特別研究員2. 千葉大院園芸3. 千葉県農林総研)	◆座長 伊藤純一 (東大農学生命科学) 616 イネにおける茎頂分裂組織の負の制御因子 <i>FON2-LIKE CLE PROTEIN1 (FCP1)</i> の機能に関する研究. ○大森良弘1・寿崎拓哉1.2・平野博之1(1. 東大院理2. (現. 基生研)) 617 イネにおける芒の形成を制御する遺伝子の解析 ○鳥羽太陽・大森良弘・平野博之(東大院理) 618 巨大葉緑体を持つイネ変異体<i>gic</i>の単離と分子育種への利用 ○佐野新悟・西村秀希・前川雅彦・坂本亘(岡大植物研) 619 ミトコンドリア・レトログレード・シグナルによるpistillody(雄ずいの雌ずい化)に関与する遺伝子のマイクロアレイ解析 山本充香1・川浦香奈子2・荻原保成2・○村井耕二1(1. 福井県大生物資源2. 横浜市大木原生研)	14:00 14:15 14:30 14:45
◆座長 河原太八 (京大院農) 418 山形県の在来品種ベニバナ「最上紅花」の遺伝的特徴の解明 ○木村薫・渡辺さゆり・阿部利徳・笹沼恒男(山形大農) 419 山形県在来カブのアントシアニンおよびエネルギー含量に関する系統間差異 ○江頭宏昌1・江花智康2・吉井明彦1(1. 山形大農2. (株)雪国まいたけ) 420 空間統計的手法による海浜植物コウボウムギ<i>Carex kobomugi</i>のクローン繁殖様式の解析 三好郁哉1・○大迫敬義2(1. 京大農2. 京都府大生命環境科学) 421 ダイズ在来系統ダダチャマメのAFLPを用いた系統解析 ○小西省吾・笹沼恒男・阿部利徳(山形大農)	◆座長 新倉聡 (東北種苗) 521 植物のダイナミン様タンパク質DRP2は配偶体形成に必須である. ○林嘉禾1・藤本優2・高梨秀樹1・有村慎一1・堤伸浩1(1. 東大農学生命科学2. 東大理学) 522 MIRO1は花粉管伸長と胚発生におけるミトコンドリアの形態と分配の制御に関わる ○山岡尚平1・中島特貴1・藤本優1・C. Leaver2・堤伸浩1(1. 東大農学生命科学2. オックスフォード大植物科学) 523 ハマダイコンが有する稔性回復遺伝子の発現の安定性 ○堤厚善・森悠太・安本景太・山岸博(京都産大工学研究科) 524 ダイコンの細胞質雄性不稔遺伝子orf138を発現する葉緑体形質転換ベクターの作製とそれを用いた稔性回復遺伝子作用アッセイ系の構築 ○田中義行・安本景太・山岸博・寺地徹(京産大総合生命科学)	◆座長 山岸真澄 (北大院農) 620 二次元電気泳動による詳細なパンコムギのグリアジンプロファインリング ○中村真子・齋藤美沙・川浦香奈子・荻原保成(横浜市大木原生研) 621 イネ高温登熟メタボローム〜マルチオミックス解析による米品質制御遺伝子の推定 ○山川博幹・羽方誠・寺尾富夫(中央農研北陸研セ) 622 6種の必須金属元素とカドミウムの蓄積に関わるイネ遺伝子のイオノーム的解析 ○吉原利一1・朴恵卿1・庄子和博1・後藤文之1・中村英光2・羽方誠2・市川裕章2・廣近洋彦2・市川尚齊3・松井南3(1. 電中研環境科学2. 農業生物資源研3. 理研ゲノム)	15:00 15:15 15:30
◆座長 加藤淳太郎 (愛知教育大) 422 光周性関連遺伝子領域とEST領域をマーカーとして用いたソバの開花日のQTL解析 ○原尚資1・志間多詠子1・岩田洋佳2・奥野員敏1・大澤良1(1. 筑波大院生命環境科学2. 東大農学生命科学) 423 SSRマーカーおよびフローサイトメーターを用いた山形・新潟両県で栽培されるショクヨウギクの系統分類 ○齋藤裕太郎1・江頭宏昌2・高品善1・遠藤幸子1・金森裕之3・佐藤淳4・高橋香織2・小笠原宣好2(1. 山形農総研セ国試2. 山形大農3. STAFF研4. 新潟農総研国研セ)	◆座長 佐藤豊 (名大院生命農学) 623 種子登熟過程における金属元素の動態とフィチン酸の役割 ○岩井徹1・高橋美智子2・寺田靖子3・吉田薫1(1. 東京大学大農学生命科学2. 宇都宮大農3. (財)高輝度光科学研究センター)	15:45	

2日目(9月25日)午後 口頭発表プログラム			
9月25日	第1会場 (共通施設棟 A303)	第2会場 (共通施設棟 A304)	第3会場 (共通施設棟 A211)
16:00			
16:15			
16:30			
16:45	第1会場 (共通施設棟 A303) グループ研究集会1 遺伝資源海外学術調査の現状と課題 (10) 世話人:加藤鎌司(岡山大) 佐藤雅志(東北大) 大田正次(福井県立大) 共催:日本学術振興会「アジア拠点事業」 話題提供: 「南インド、カルナータカ州の栽培植物と儀礼食:エンマー小麦の調査を中心に」 千葉一(東北学院大) 「植物遺伝資源の開発・利用に関する中国昆明植物研究所との国際共同研究」 加藤鎌司(岡山大)・龍 春林(中国科学院昆明植物研究所)	第2会場 (共通施設棟 A304) グループ研究集会2 “習うより慣れる！パソコン実習 Breeding Informatics 研究 VIII” 世話人:岩田洋佳(東大) 矢野健太郎(明治大) 話題提供: 「Perlで楽はできないか」 矢野健太郎(明治大) 「RでANOVAからQTLまで」 岩田洋佳(東大) LAN接続可能なノートPCをご持参ください	第3会場 (共通施設棟 A211) グループ研究集会3 育種学と農学のこれからを考える20 若手の会主催・研究集会 世話人:角井宏行(名古屋大) 吉岡洋輔(野菜茶研) 高橋有(岩手大) 話題提供: 「オオムギ花器官形成機構の分子的基础」 漆川直希(岡山大) 「イネゲノムのDNAメチル化解析:セントロメアの進化を考える」 菊池真司(千葉大) 「野生イネと私:野生種を用いた新たな発見とその育種利用に向けて」 石川亮(神戸大)

2日目(9月25日)午後 口頭発表プログラム			
第4会場(大学院棟 M216)	第5会場(大学院棟 M204)	第6会場(大学院棟 M109)	9月25日
◆座長 加藤淳太郎 (愛知教育大) 424 dCAPSマーカーを用いたUゲノムをもつエギロブス属倍數性種の多起源性解析 ○村上久遠1・河原太八2・阿部利徳1・笹沼恒男1(1. 山形大農2. 京大院農学)	◆座長 有村慎一 (東大農学生命科学) 525 <i>Oryza rufipogon</i>に由来するT61C, RT98C, RT102Cの持つ雄性不稔細胞質の比較解析 ○村田隼人1・風間智彦1・本村恵二2・鳥山欽哉1(1. 東北大院農2. 琉球大農学部)	◆座長 佐藤豊 (名大院生命農学) 624 低フィテン米の原因遺伝子、ABCトランスポーター<i>OsMRP13</i>の発現解析 ○松原千枝・中島優典・吉田薫(東大農学生命科学研究科)	16:00
425 倍數性コムギの進化に新しい知見をもたらすミトコンドリアゲノムの構造変異 ○辻村真衣1・富岡関子1・森直樹2・寺地徹1(1. 京都産大総合生命科学2. 神戸大院農学)	526 イネLD型細胞質雄性不稔性に対する稔性回復遺伝子<i>Rf2</i>はグリシンリッチタンパク質をコードする ○板橋悦子・岩田夏子・藤井壮太・風間智彦・鳥山欽哉(東北大院農)	625 アリューロン層特異的発現を誘導するプロモーターの開発にむけて ○石橋侑子・桑野美緒・吉田薫(東大農学生命科学)	16:15
	527 イネミトコンドリア遺伝子発現制御に関わるMPR25タンパク質の機能解析 ○戸田拓士1・藤井壮太2・野口航3・風間智彦1・鳥山欽哉1(1. 東北大農学応用生命科学2. ARC., U.Western Australia 3. 東大理学生物科学)	626 オリエンタルハイブリッドユリの<i>LhMYB12</i>ホモログは花被片におけるアントシアニン合成を制御している ○山岸真澄(北大院農)	16:30
コンピュータ実習室(学部棟Ⅱ E229) グループ研究集会4 ムギ類の遺伝・育種学へのデータベース活用 世話人: 那須田周平(京大) 話題提供: 「グーグルマップを利用した遺伝資源探索データの活用」 西田英隆(岡山大) 「オオムギゲノムデータについて、なにをどのように使えるか？」 佐藤和広(岡山大) 「コムギ大量EST情報の活用例」 川浦香奈子(横浜市大木原生研) 「NBRP・コムギ SSRマーカーDB等の最近の話題」 那須田周平・新田みゆき(京大)			16:45

ポスター作成要領

1. ポスターは横 90cm×タテ 150cm に収まる大ききで作成してください。
2. ポスターの上部の左側にはポスター番号を貼付ける余白（横 12cm×タテ 8cm）を残してください。
3. ポスターの上部には、オンライン登録と同一の演題名、著者名、所属を 48 ポイント以上の文字サイズを使い、日本語、英語を併記してください。
4. 図表のタイトル、説明文は英語で表記してください。

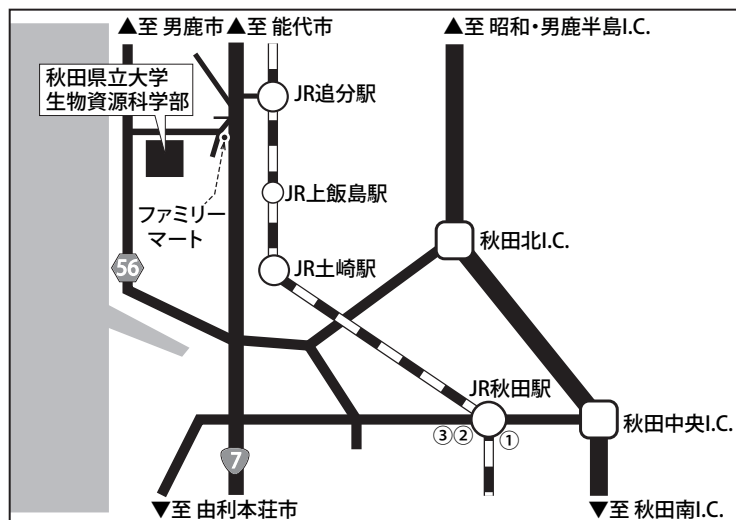


口頭発表講演方法

口頭発表の発表形式はプロジェクターによるプレゼンテーションのみです。発表にはご自分のパソコンをご使用ください。大会当日は試写室に試写用のプロジェクターをご用意いたします。発表者はあらかじめ余裕を持って試写を行い、スライドのレイアウトや動作をご確認いただくとともに、パソコンの画面出力先の設定（ミラーリング）方法を必ずご確認ください。また、パソコンの不具合に備えて大会運営委員会では予備のパソコン（Windows XP または 7, Power Point）をご用意しますので、データのバックアップを入れた USB メモリを必ずご準備ください。

1. 使用するノートパソコンの「画面の解像度」を XGA（1024×768 ピクセル）に設定してからスライドのレイアウトを確認してください。これよりも大きい画面サイズやワイド画面のパソコンを使用すると、プロジェクターから正しく投影されないことがあります。
2. 画面出力端子の形状が D-sub15 ピン（ミニ）であることを確認してください。この形状と異なる場合、Mac をご使用になる場合は変換アダプタを準備してください。
3. スクリーンセーバー、省電力設定は解除し、起動音をミュート（消音）にしてください。
4. バッテリートラブルが生じないように電源タップを用意しますので、パソコンの電源コードを準備してください。
5. 次講演者席、次々講演者席に着席したら、電源コード、モニターケーブルを順に接続し、パソコンを起動してください。
6. 発表者の交替の際に、モニターケーブルの記号（A, B, C, D）に合わせて係員がモニター切替器を操作します。発表者の画面がプロジェクターから投影されない場合、発表者はミラーリングの変更を行ってください。なお、トラブルの時間も講演時間に含まれますのでご了承ください。
7. 動画はミラーリングによってプロジェクターから投影されないことがありますので、発表者は試写の際にミラーリング方法をご確認ください。
8. 試写室にはスタッフが常駐しています。パソコンの設定、予備のパソコンの貸し出しにつきましては試写室のスタッフにお申し付けください。

講演会場へのアクセス



JR 秋田駅までの交通案内

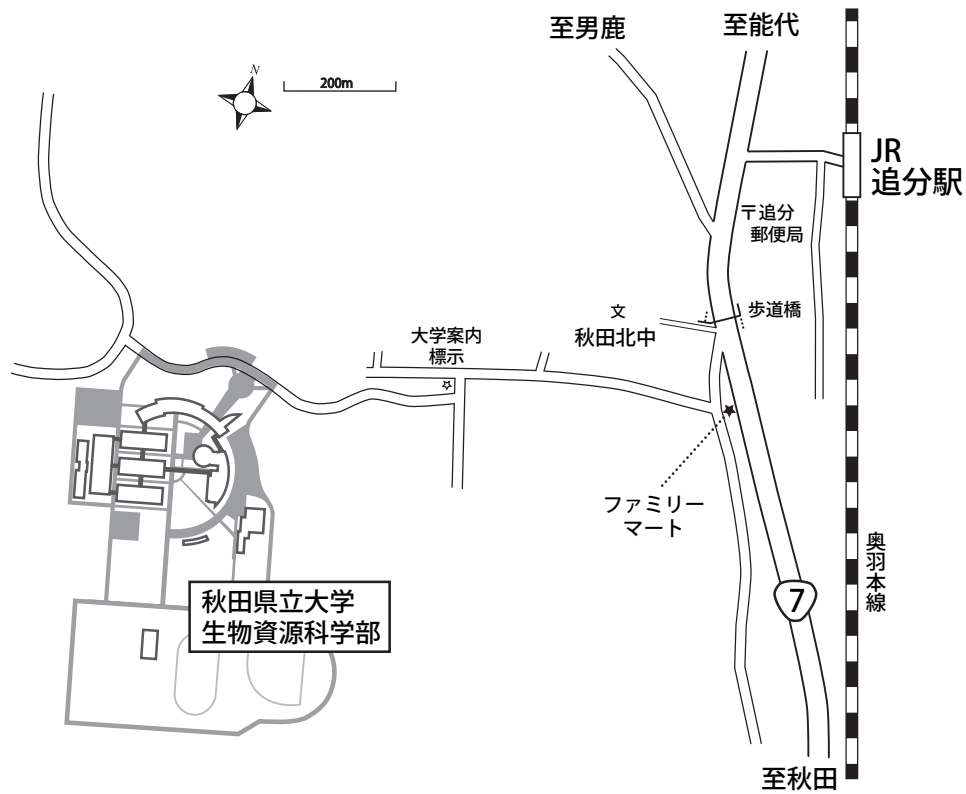
- ・ 秋田空港から
リムジンバスで約 40 分
- ・ JR 東京駅から
秋田新幹線こまちで約 4 時間

JR 秋田駅から秋田県立大学 生物資源科学部までの交通案内

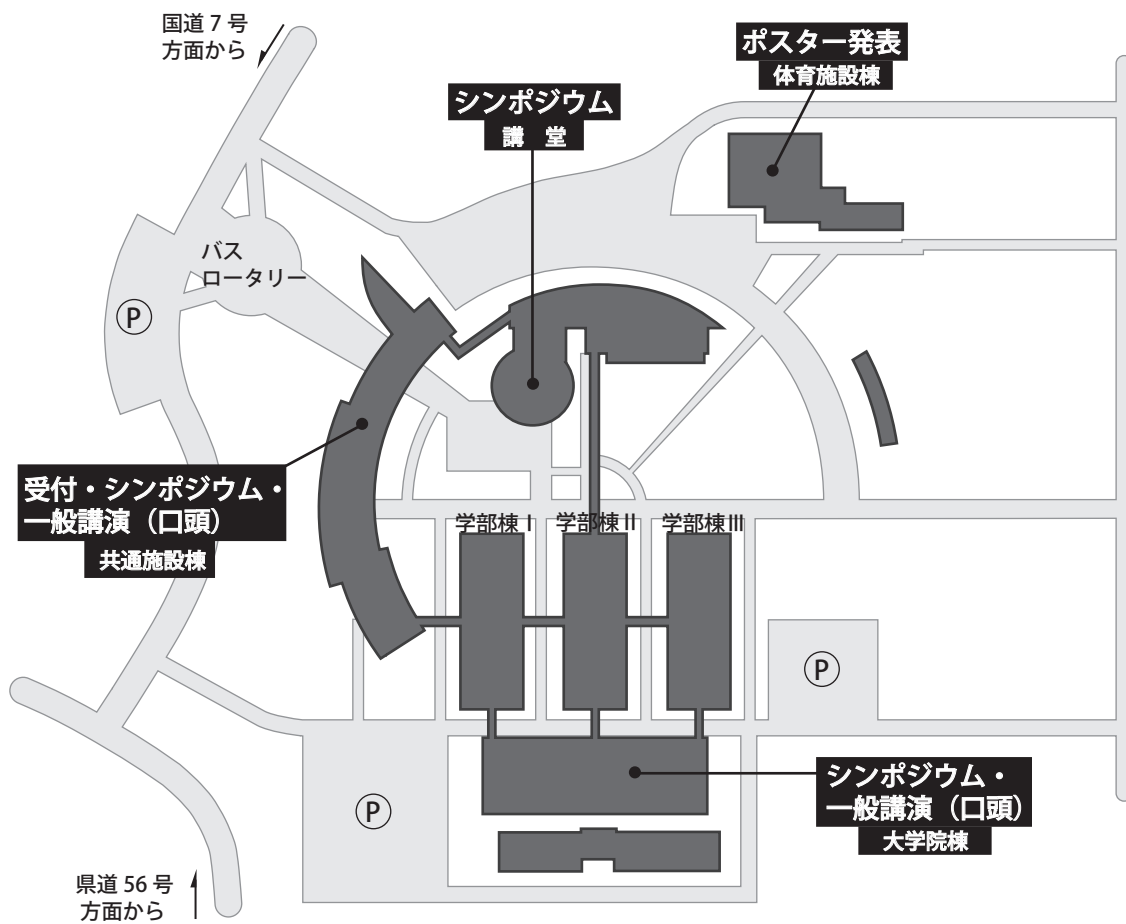
- ・ JR 追分駅まで JR で約 15 分
JR 追分駅から徒歩で約 20 分
- ・ 秋田県立大学行き貸切バスで約 40 分
9 月 24 日（金）、25 日（土）の朝は、講演会場まで貸切バス（有料）で直行するのが便利です。乗車場所は宿泊案内をご覧ください。

①アルヴェ：幹事会 ②秋田ビューホテル：懇親会 ③カレッジプラザ：市民公開シンポジウム

JR 追分駅から秋田県立大学生物資源科学部までの地図

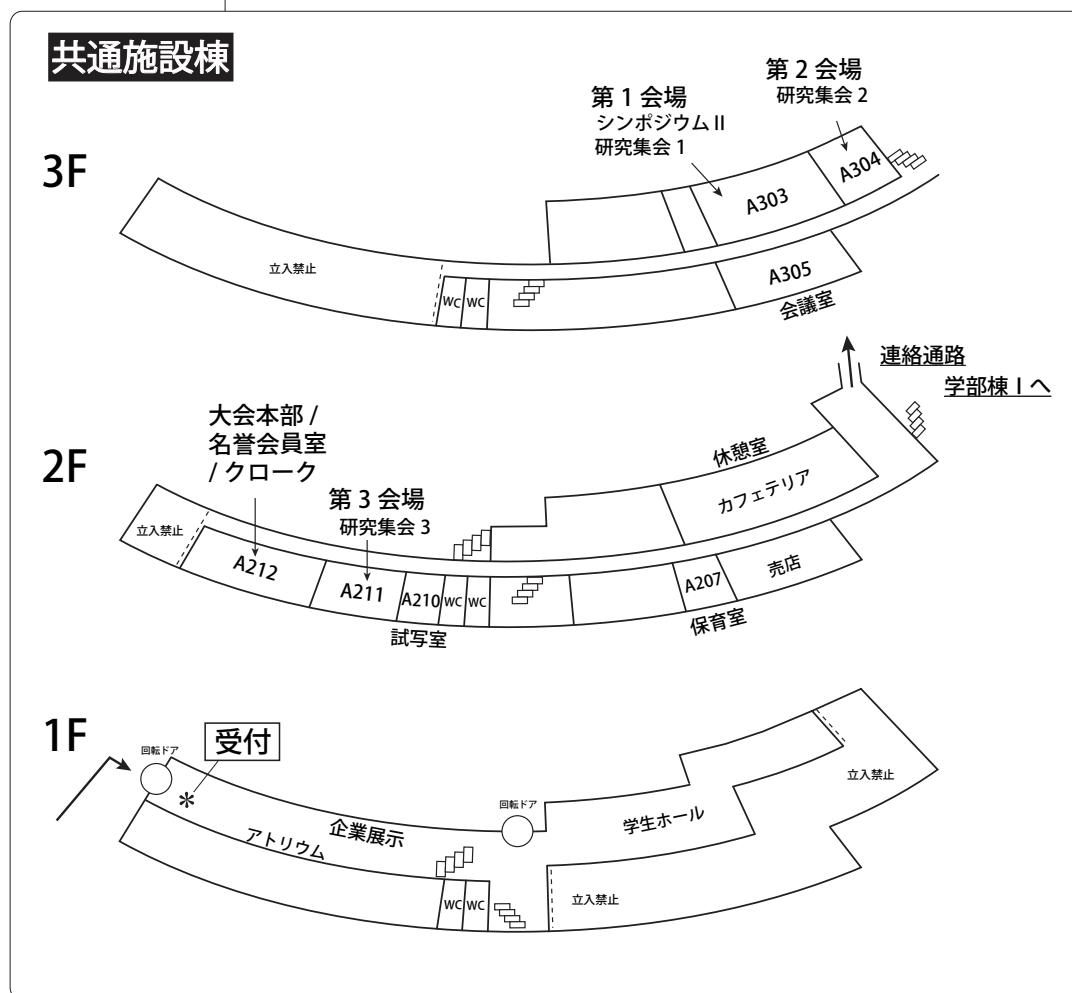
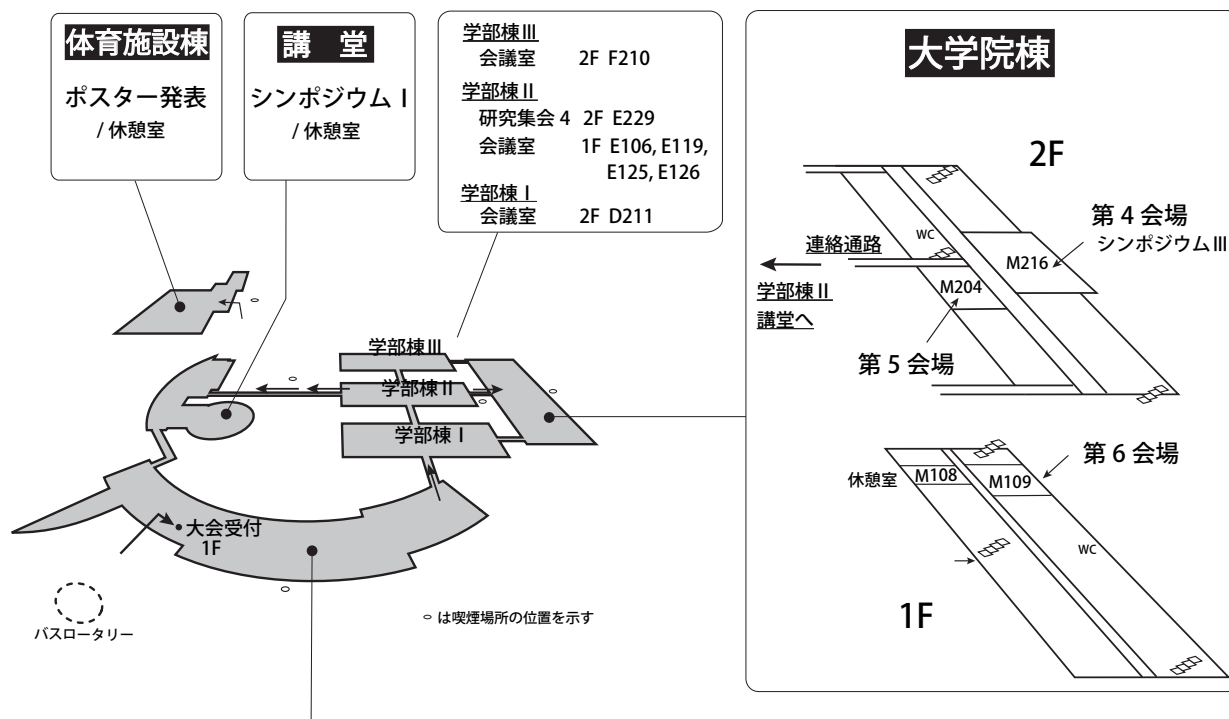


講演会場案内図（秋田県立大学生物資源科学部）



懇親会へ参加される方はシンポジウム終了後バスロータリーから貸切バスにご乗車ください。

講演会場見取図（秋田県立大学生物資源科学部）



・ 共通施設棟・学部棟・大学院棟・講堂は2階通路で連絡しています。